

2020 年度 活動計画

◆ エファジャパンのビジョン、ミッション、バリュー ◆

エファジャパンがめざす社会（ビジョン）

「すべての子どもが生きる力を存分に発揮できる社会をめざします」

その実現のために行うこと（ミッション）

1. すべての子どもたちが、置かれた環境や状況に左右されず、生きる力を身につけるために必要な教育の機会を得られるよう支援します。
2. すべての子どもたちが、生来備えている能力を十分に発揮できるような福祉サービスが提供されるよう支援します。
3. すべての子どもたちへの教育と福祉の支援がより効果的になるよう、家族や地域社会などを支援します。

抛りどころとするもの（バリュー）

「エファジャパンがめざす社会」の実現にむけて、1989年の第44回国連総会で採択された「子どもの権利条約」を団体の行動指針の抛りどころとします。また、2015年に国連で策定されたSDGs（持続可能な開発目標）に則して活動を行っていきます。

中長期活動計画の策定

エファジャパンはこれまで15年に渡り、インドシナ3カ国—ベトナム、ラオス、カンボジアで、すべての子どもたちが持つ権利を実現できるための支援活動を、皆様のご支援により行ってきました。活動を始めた当初より、3カ国の経済状況なども変化し、必要とされている支援活動の内容もそれとともに大きく変わってきています。また、3カ国以外のアジアの、そして世界の状況も変化しています。これまでの支援活動で培ってきた経験を活かして、今後、どのような支援活動をすることが、3カ国の、アジアの、世界の子どもたちにとって必要なのかを考え、5年後、10年後を見据えた中長期計画の策定に取り組み始めていきます。

ベトナム活動計画 Viet Nam

★今後のベトナム支援事業

・2019年度、これまで実施してきたハイフォン市での障害児支援について総括を行いました。今後は、同市でのカウンターパートであるソーシャルワークセンター等と丁寧に協議を重ねてまいります。総括で見えてきた課題と教訓も踏まえ、これからの支援の可能性について、検討をしていきたいと考えています。



ハイフォン市内の障害児クラブの子どもたち

ラオス活動計画 Laos

★新規事業

・自治労広島県本部のご支援により、9月の新学年度に合わせ、5年間の支援モデルを適用し、ビエンチャン県サントン郡の4つの小学校に図書室を設置します。図書室は3年間の支援後に自主運営へ移行、その後はモニタリングのみ実施し、5年後には完全に自主運営してもらええる支援を実施します。

★継続事業

・一人でも多くのラオスの子どもたちが図書にアクセスできる環境が整うように、ビエンチャン都立図書館の運営支援、国内の小中学校の学校図書室への支援、ラオス図書館協会の運営支援を実施してまいります。また、ビエンチャン都やその近郊、さらに学校図書室の設置率が低い県の一つであるフアパン県内において、図書館や学校図書室が、子どもたちや市民に有効に活用されるような総合的な支援を行ってまいります。また、自治労が始めた国内の子ども文化センターの活動も注視してまいります。



ビエンチャン都立図書館で読書や学習をする生徒たち

カンボジア活動計画 Cambodia

★継続事業

・カンボジアの子どもたちが安心して暮らしていけるようになるため、児童保護施設の運営支援、また未来のために多くの子どもたちが教育を受ける機会を得られるように、寺子屋教室の運営支援を継続してまいります。2019年には、小学校の6年生までの全課程を修了するプログラムを進めていた寺子屋教室から、初めての卒業生が中学校に進学、奨学金支援を実施しました。一人でも多くの子どもたちに教育を受ける機会を得てもらえるような支援を継続してまいります。また、2018年度に施設の形態を変更した、学童保育所の支援、幼児期の子どもたちの情緒を育む就学前教育の専門家を輩出している国立幼稚園教員養成校の支援を継続してまいります。



プレアビヒア児童保護施設の子どもたち

国内活動計画

★継続事業

・2019年度より検討を開始した定住外国人の、特に支援国（ベトナム、ラオス、カンボジア）から来日した人の家族の子どもたちへの教育支援について、実施に向けて活動してまいります。さらに、支援者の皆様に共感を抱いて参加していただけるような支援方法の検討も行っています。

新型コロナウイルス感染症関連

・2019年末より「新型コロナウイルス感染症」（COVID-19）の感染拡大が、世界中で猛威を振っています。エファの支援国に対する「緊急支援募金」のお願いを、本報告書発行時にすでにお願ひしており、多くの皆様からご支援をいただいております。心より感謝いたします。同感染症は、今後の医療体制の状況にもよりますが、WHO（世界保健機関）をはじめ、多くの世界の医学者が、繰り返し感染拡大の波が来るだろうと警告しています。ワクチンや治療薬が開発され、同感染症の拡大の終息が見られるまで、支援実施国の状況に今後も注目してまいります。